



📷 特集 第29回

埼玉県都市公園 写真コンクール 受賞者発表!



さいたまの公園の旬な情報をナビゲート!

PARKS

2020 No.64

TAKE FREE SPRING

第29回埼玉県都市公園
写真コンクール 受賞者発表!

プレゼントクイズ・読者のみなさんの声 P6
埼玉の公園 公益社団法人埼玉県公園緑地協会編 裏表紙

埼玉の公園

公益財団法人
埼玉県公園緑地協会編

1 埼玉スタジアム2002公園	2 熊谷スポーツ文化公園	3 こども動物自然公園	4 羽生水郷公園 (さいたま水族館)
5 上尾運動公園 (さいたま水上公園)	6 しらこぼと公園 (しらこぼと水上公園)	7 川越公園 (川越水上公園)	8 加須はなざき公園 (加須はなざき水上公園)
9 戸田公園	10 秋ヶ瀬公園	11 みさと公園	12 県民健康福祉村
13 所沢航空記念公園	14 大宮第三・第三公園	15 久喜菖蒲公園	16 智光山公園
17 吉川公園	本部アクセスマップ	当協会の公園 ガイドマップ	

🌻 上記17の公園は埼玉県公園緑地協会が運営・管理をしています。

- 公園の賑わいづくり
- 体験学習の機会提供
- スポーツの普及
- 芸術・文化の普及
- 身近な遊び場の提供
- 緑化の推進

他にも、多様なニーズにお応えできるよう、各公園で様々な取り組みを実施しています。



特選

「虹色に輝く秩父雲海」

星野 翔

秩父ミュージックパーク（秩父市）

講評

一瞬、目を疑いましたが、まさかの秩父ハープ橋。サンフランシスコのゴールデンゲートブリッジを彷彿とさせるスケール感と、雲海に釘付けになりました。気象条件などを綿密に調べて撮影ポイントに向かわれたことでしょうか。身近な絶景に驚きです。

「風は秋色」

関口 晃

国営武蔵丘陵森林公園（滑川町）

講評

魚眼レンズは広範囲が撮れるため、扱いの難しいレンズですが、良い素材が画面いっぱい。これほどの好条件がそろうのは、まれ。色とりどりなだけでも、公園の楽しさが伝わってきます。伸びた人影が立体感のアクセントにもなりました。



「ヤエザクラ、春風の中で」

小林 尋哉

加須はなさき公園（加須市）

講評

春らしいお天気で、八重桜の並木を颯爽と走るのはさぞかし気持ち良いことでしょう。ちょうど中央を通るタイミングで、シャッターチャンスもバッチリ。写真から細かい表情まで見えませんが、きっとみんな笑顔でしょう。

📷 特集 今号は令和最初の回となった埼玉県都市公園写真コンクール受賞者をご紹介します!

第29回 埼玉県都市公園写真コンクール 受賞者発表

知事賞

「花遊び」

馬場 歩

さきたま古墳公園（行田市）

講評

公園らしい緑を背景にジャンプする瞬間をうまくとらえています。高さを表現するにはカメラ位置は低いほうが良いのですが、背景に遠くの風景が見えてきますから、この高さがベスト。手を伸ばした子どもと躍動感あるジャンプに、この写真の良さが込められています。

受賞者のことば

シロツメクサが満開のさきたま古墳公園。娘たちは花冠を作ったり、花の絨毯を飛び跳ねたりして楽しみました。



理事長賞

「いないいない」

齊藤 未紗希

加須はなさき公園（加須市）

講評

イチョウ並木は色鮮やかで秋の訪れを楽しむにはぴったり。一面に広がる葉っぱは、少しさみしくもありますが、子どもたちにとっては季節を感じる遊び道具にもなります。柔らかな光から感じるやさしさや立体感も功を奏しました。

受賞者のことば

ばあ!! する2秒前。イチョウ並木がとっても素敵な加須はなさき公園。イチョウの葉で葉っぱ遊びを楽しみ娘を撮影しました。





「灯す」 小林 真佐雄

彩の森入間公園 (入間市)

講評

焼けた空が水面に写るだけでも美しい風景ですが、ウェーブを描くように並んだ灯籠も加わり、目を奪われてしまいます。静かな空気と子どもたちが一生懸命描いた絵から、気持ちの伝わる素敵なイベントです。



「キレッキレのダンス!」 須田 哲充

さいたま水上公園 (上尾市)

講評

躍動感あふれる一枚です。ぴったり息が合ったダンサーの動きと旗のなびきかたも同調しています。写真だけでもこれほどの迫力がありますから、大音量の曲が流れる会場も盛り上がりそうです。いちど、足を運んでみてください。

イベント賞



「親分ペンギン?」 鹿島 信二

こども動物自然公園 (東松山市)

講評

作者は面白そうだからと、背くらべに並べたのだと思いますが、無表情な子どもと同じく無表情のペンギンを交互にみるとジワジワと面白さがこみ上げてきます。見かた次第では、カルガモ親子風にも感じられます。服の色と青で揃ったのも馴染んで良かったですね。



「甘くないバナナチョコ」 堤 元氣

大宮公園 (さいたま市)

講評

バナナチョコと男性の表情がほぼ同じで、見た瞬間、思わず吹き出してしまいました。特に口と目は、うり二つ。バナナチョコが先なのか、それとも似せて作られたものなのか…。楽しい休日の様子が、この一枚の写真から伝わってきます。

ユーモア賞



「足跡」 小室 芽衣

まつぶし緑の丘公園 (松伏町)

講評

重みのあるタイトルですが、写真はライトな仕上がりに。画面を対角にまたぐ足跡と妹さんの足もとのみを強調した構図から力を感じます。左側の川に特別な意味がなければ、もう少しカットすると、さらに足もとを強調できるように思います。



「曼珠沙華の日光浴」 鈴木 恭平

巾着田曼珠沙華公園 (日高市)

講評

真っ赤な彼岸花の群生は魅力的ですが、それを引き立てるように眩しいくらいの太陽の日差しも入り、赤の濃淡がより美しく映えて、立体感が増えています。不思議な形の幹も加わり、自然の生命力が感じられます。

ユース賞(U22)



「ママと公園」 野口 昌代

まつぶし緑の丘公園 (松伏町)

講評

映画かドラマのワンシーンでも見ているような光景です。お母さんの口元は少し見えますが、表情の決め手になる目がふたりとも見えないので、どれほどうれしそうに遊んでいるのか、想像が膨らみます。雲の位置や光にも恵まれましたね。



「雨の日の公園で」 神杉 明

埼玉県農林公園 (深谷市)

講評

親子の間でよく見かけるしぐさですが、写真であまり見た記憶がありません。ほんの一瞬なので、シャッターチャンスをつかえるだけでも難しいからでしょう。ママも大きな笑顔で、見ているこちらまで幸せな気分になります。

ファミリー賞



「青春(あおはる)」 井上 弘喜

国営武蔵丘陵森林公園 (滑川町)

講評

春の訪れとともに咲くネモフィラはさわやかで、見るだけでもウキウキしてきます。カメラ位置を低く構えることで、青インクをこぼしたようなボケが前後に生まれ、中央の花たちが引き立っています。



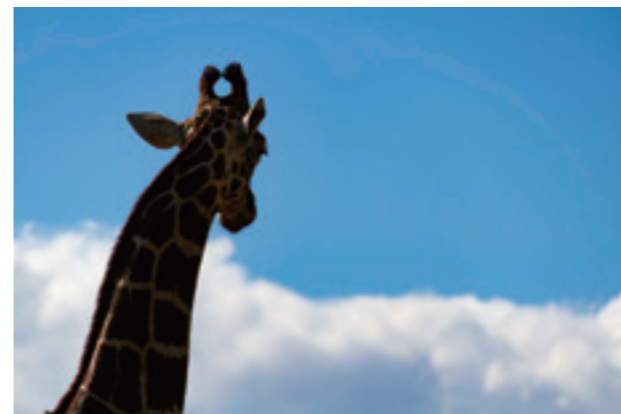
「昼下がり」 関矢 昭子

国営武蔵丘陵森林公園 (滑川町)

講評

望遠レンズを使い風景を部分的に切り取ったところに、二人のご婦人が良いアクセントになりました。色鮮やかな光景のなか、腕を大きく広げて、楽しそうな話題で盛り上がっているように見えますが、どんな話なのかとても気になります。

入選

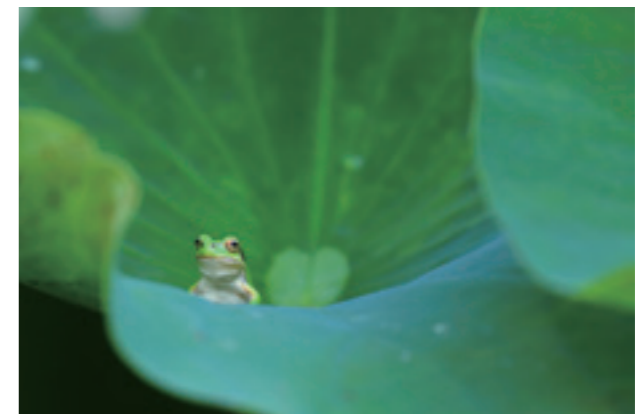


「晴れのちキリン」 赤坂 大樹

こども動物自然公園 (東松山市)

講評

シンプルなバックに、伸びたクビ。カメラとキリンの位置関係から、青空と雲が一面に広がりました。逆光気味でキリンはシルエットになりましたが、つぶらな瞳とまつげが見えているのが心憎いです。快晴のもと、キリンも気持ちよさそうです。



「コンニチワ(ケロケロ)」 石井 守彦

内牧黒沼公園 (春日部市)

講評

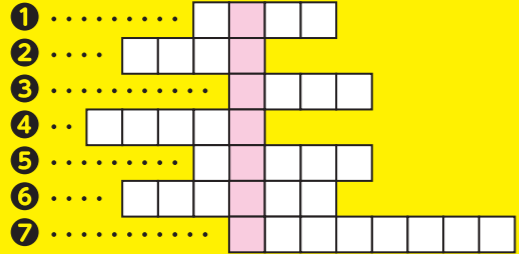
俺様の場所だ、と言いたげにも見えるカエルです。ボケと葉っぱの重なりやウェーブが絶妙でカエルがよく引き立ちました。画面上のサイズでは小さな存在ですが、それ以上にとても大きく感じられます。雨が待ち遠しそうにも見られます。

アニマル賞

クイズ王に挑戦

問題

埼玉県が提携している姉妹友好州のうち、クイーンズランド州といえばどこの国でしょう？

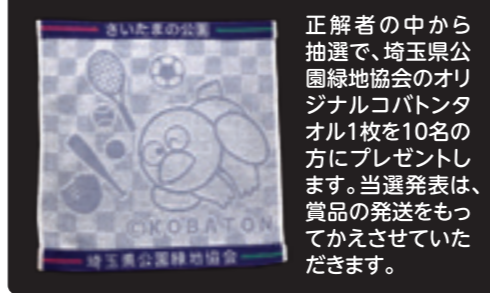


以下の①～⑦のクイズを解いて、上の解答欄をカナで埋めると、[問題]の答えが出てきます。それをお答えください。

- 日本の代表的な桜である「ソメイヨシノ」の元となった、交配された二つの桜とは、エドヒガンと何ザクラでしょう？
- パンダを大きく2つに分けると、ジャイアントパンダと何パンダでしょう？
- ギリシア神話に登場する美少年・ナルシスが変身したとされている春に咲く花で、クチベニ、ラッパなどの種類がある何でしょう？
- 世界では絶滅の危機に瀕しているものの、日本国内の動物園や水族館ではよく目にする事ができるペンギンは、ドイツの地理学者の名前が付いた何ペンギンでしょう？
- 両手で作ったオーケーサインを胸の前でクロスさせ、左足を少し前に出すという「埼玉ポーズ」はどんな鳥をイメージしているでしょう？
- 頭に巻く「ターバン」を意味するトルコ語から名前が付けられた、春に咲く花は何でしょう？
- 羽生市のさいたま水族館で見られる北米大陸最大の淡水魚といえば何でしょう？

応募のきまり
 官製はがきまたはEメールに、クイズの答え、本誌の入手先、郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌の中で興味を感じた記事およびその感想を書いてください。
 ●宛先 … 〒330-0803 さいたま市大宮区高鼻町4-130 埼玉県公園緑地協会PARKS係へ
 ●Eメール … parks@parks.or.jp
 ●締切 … 5月7日(木)必着
 ●正解発表 … PARKS 65号 (2020年7月発行予定)にて

賞品



正解者の中から抽選で、埼玉県公園緑地協会のオリジナルコバントオル1枚を10名の方にプレゼントします。当選発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。

能勢さんからのお知らせ

埼玉県では宴会等で提供される食べ物を残さず食べる「食べきりタイム」の実践を推奨しています。宴会での食べ残しを防ぐため、締めの15分前はゆっくり料理を楽しむ時間としましょう！



クイズ王 能勢一幸
 1969年生まれ。アメリカ横断ウルトラクイズなど数多くのクイズ番組で優勝。埼玉スタジアム2002を経て現在、埼玉県庁資源循環推進課勤務。

個人情報の取り扱いについて

イベントおよびプレゼントクイズの申し込みで得た個人情報は、(公財)埼玉県公園緑地協会が責任持って管理いたします。原則として利用者の個人情報は第三者に開示いたしません。ただし、法律によって要求された場合、お客様が同意されている場合など例外的に開示することがあります。

前回PARKS63号の答え **エコハウチュー**



「大きな向日葵みつけた」 斉藤 綾子

市民の森 (さいたま市)

講評

ひまわりが何で作られているのか気になるころですが、浴衣と帽子も加わり、ひと夏の思い出を伝えるには素敵な素材が揃い、表情からも楽しさが伝わってきます。強い日差しを避けて、フラッシュで明るさを整えるテクニックも効果的でした。



「初冬の日暮れに」 石山 敬

狭山稲荷山公園 (狭山市)

講評

二人の表情としぐさ、そして秋らしい光が決め手になりました。極端な逆光ですが、その光を利用して、温かみとやさしい雰囲気が醸し出されています。フカフカの落ち葉の上で座るのは、気持ちよさそうです。



写真コンクール 受賞者の皆さんで記念撮影



「円墳の舞い」 船塚 和雄

さいたま古墳公園 (行田市)

講評

星空写真がブームで、風景と絡めたものをよく見かけるようになりました。カメラ性能も上がり、簡単に渦を巻くような星空を撮れるようになったのも人気のひとつ。もちろん、撮影者のセンスや技術も重要です。肉眼では見られない星空の様子が楽しめました。

みなさま 読者の声

前号クイズ応募者の方より

●特集1 紅葉・秋イベントのご紹介

孫を連れて行きとても自然がいっぱいで多くの動物に会えて嬉しかったのでレッサーパンダの双子の赤ちゃんに会いに行きたいです。カピバラが大きくてビックリ!

東松山市 S様

●特集1 紅葉・秋イベントのご紹介

大宮公園小動物園にカピバラ湯あみが見られるのにびっくり。近いので行きたい〜!!

さいたま市 H様

●特集1 紅葉・秋イベントのご紹介

こども動物自然公園の記事が一番良かったです。遠方にいる孫たちと年に一度は行っていますので色々な情報が役立ってありがたいです。No63号を初めて手にして、これからも大切な冊子にします。

熊谷市 I様

●特集1 紅葉・秋イベントのご紹介

こども動物自然公園のカピバラ温泉、レッサーパンダの赤ちゃん、エコハウチューに興味を持ったので見に行きたいと思いました。

新座市 K様

●特集2 フィッシングデビュー

川釣り以外にプールで釣りができることを知って、つりを始めたくなりました。

日高市 T様

編集部より 便りをいただき、誠にありがとうございます! 知りたい情報やおすすめスポットがありましたら、お知らせください。郵便はもちろんeメールでも結構です。(アドレスは上記プレゼントクイズのあて先)

第29回埼玉県都市公園写真コンクール概要

題 材: 埼玉県内の都市公園の風景、諸行事や公園内で憩う人々など
応募期間: 令和元年7月1日(月)~令和元年11月30日(土)
応募点数: 832点
主 催: 公益財団法人 埼玉県公園緑地協会
後 援: 埼玉県、埼玉県教育委員会、朝日新聞さいたま総局 全日本写真連盟
協 賛: 一般社団法人 埼玉県造園業協会、埼玉県カメラ商組合 株式会社三和広告社、キリンビバレッジ株式会社



桃井 一至 氏 (ももい かずし)
 1968年京都府生まれ。写真家・長友健二氏に師事。3年間のアシスタント生活のあと、フリーランスカメラマンとなる。現在は、写真撮影をはじめカメラ関係書籍の執筆やWebレポートなどを多数行う。テレビやイベントへの出演も多く、NHK「趣味悠々・デジタル一眼レフ撮影術入門」、NHK「シーン別デジタルカメラ撮影術入門」では講師を務めた。撮影ジャンルは人物・海外風景など。日本写真家協会会員 (JPS)、全日本写真連盟/関東本部委員

写真コンクール総評

今回も多数のご応募ありがとうございました。毎年、楽しくすべての作品を拝見しています。公園はもっとも身近なお出かけスポット。四季折々の彩りと移ろい、さらにスポーツや動物とのふれあいも楽しめるバラエティ豊かな施設が、埼玉県内には豊富にあるのを知ったときには驚きました。選考された写真をご覧になると、その様子や季節感がよく感じられると思います。日々の生活に追われて過ごしていると、素晴らしい光景が目の前にあっても見落としがち。また、毎日顔を合わせている家族やペットも誕生、巣立ち、別れと長い年月で見れば変化していきます。ぜひカメラを手にして、まずは気づいたこと、変わったことを記録してみましょう。その次は公園の様子、子どもの泣き顔など、なんでもない日常を撮り続けてみましょう。写真のおもしろさは、特別な日の事柄だけでなく、日常も時間とともに価値が高まるころにもあります。次回もお気に入りの一枚をお待ちしています。